

平成20年度事業報告書

平成20年7月1日から平成21年6月30日まで

特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター

1. 事業の成果

アジアの高齢化問題及び福岡市の高齢化対応のまちづくりに関する各種の取り組みを行い、高齢化が国際的な課題であること、また、その解決にあたってはわが国の経験・ノウハウが重要な役割を果たすことをさまざまな層にアピールすることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1. エイジングに対応したまちづくりのための調査研究及び事業の企画実施	AABCセミナー「フィリピン視察報告会」～フィリピン看護師介護士は、いま、日本に何を思うか～	2008. 11	天神ビル	5人	市民 46名	47
	AABCセミナー「老いを自宅で迎えるために」	2009. 3	福岡国際会議場	10人	市民 110名	259
	厚生労働省老人保健健康増進等事業「ニコニコベースのステップ運動を用いた介護予防プログラム開発事業」	2008. 10 ～2009. 6	福岡市役所	5人	福岡市職員 143名	16, 166
	介護の仕事を持続できるようにする支援セミナー	2009. 1	福岡市	2人	市民 2名	—
2. アジア地域におけるエイジング情報の収集・発信	ホームページの運営	2008. 7- 2009. 6	福岡市	2人	市民・外国人 不特定多数	237
	ブログの運営	2008. 7- 2009. 6	福岡市	1人	市民 不特定多数	—
	メルマガの運営	2008. 11 ～2009. 6	福岡市	1人	市民 346人	37
	アジア型エイジング対応支援事業(笹川平和財団助成事業)	2008. 10 ～2009. 3	福岡市・韓国・中国	3人	市民・外国人 不特定多数	6, 127

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
3. アジア地域におけるエイジングに関する公共政策研究者とのコンソーシアムの支援	アジア太平洋アクティブエイジング会議 (ACAP) 事務局会議	2009. 1	福岡市	5人	市民・外国人 10人	—
4. アジア地域のエイジングに取り組む民間団体とのネットワークの構築	光州セミナー	2008. 11	韓国・光州市	3人	韓国市民 100人	1, 224
5. アジア地域におけるエイジングビジネスの調査研究及び開発	財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団「福祉用具視察者に関するニーズ調査 (外国人の福祉用具関心度動向)」	2009. 3	福岡市	2人	市民・外国人 不特定多数	507
6. アジア地域におけるエイジング研修ツアーの企画実施	海外視察研修事業	希望により 随時	福岡市	3人	364人	1, 906
	福祉ボランティア通訳者養成事業	2008. 7	福岡市	3人	10人	303
	海外エイジング視察コーディネート事業 (福岡市共働事業)	希望により 随時	福岡市	3人	15人	701

平成20年度財産目録

平成21年6月30日現在

特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	49,161		
普通預金 西日本シティ銀行本店営業部	2,872,256		
福岡銀行市庁内出張所	21,183		
仮払金	160,000		
預け金	80,000		
流動資産合計		3,182,600	
2 固定資産			
工具器具備品 パソコン2台	355,425		
減価償却累計額	▲ 72,870		
固定資産合計		282,555	
資産合計(a)			3,465,155
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 麻生教育サービス(株)	1,170,834		
流動負債合計		1,170,834	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計(b)			1,170,834
正味財産合(a)-(b)			2,294,321

貸借対照表

(平成21年6月30日現在)

単位:円

科目・摘要	金額	科目・摘要	金額
資産の部		負債の部	
流動資産合計	3,182,600	流動負債合計	1,170,834
現金及び預金	2,942,600	未払金	1,170,834
仮払金	160,000		
預け金	80,000	固定負債合計	0
固定資産合計	282,555		
有形固定資産	282,555	負債合計	1,170,834
工具器具備品	355,425	正味財産の部	
減価償却累計額	▲ 72,870	正味財産合計	2,294,321
無形固定資産		1 前期繰越正味財産	105,766
投資その他の資産		2 当期正味財産増加額	2,188,555
		正味財産合計	2,294,321
資産合計	3,465,155	負債及び正味財産合計	3,465,155

平成20年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

特定非営利活動法人 アジアンエイジングビジネスセンター

平成20年7月1日から 平成21年6月30日まで

(単位:円)

勘定科目		金額	備考
I 経常収入の部			
1 入会金・会費収入	入会金収入	215,000	
	会費収入	108,000	
	小計	323,000	
2 事業費収入	海外視察研修事業	562,560	
	福祉ボランティア通訳者養成事業	323,500	
	セミナー開催事業	1,685,834	
	出版事業	0	
	小計	2,571,894	
3 補助金等収入	補助金収入	15,000,000	厚生労働省
	助成金収入	13,100,000	笹川平和財団、福岡市ほか
	小計	28,100,000	
4 その他の収入	協賛金収入	0	
	雑収入	544	
	小計	544	
経常収入合計		30,995,438	
II 経常支出の部			
1 事業費	海外視察研修事業	1,906,181	
	福祉ボランティア通訳者養成事業	302,982	
	協働提案事業	701,264	
	セミナー開催	1,529,764	
	プログラム開発	16,166,296	
	調査研究事業	6,633,939	
	小計	27,240,426	
2 管理費	家賃	676,800	
	水道光熱費	58,045	
	事務諸費	427,047	
	ホームページ運営	236,250	
	パンフレット作成	95,445	
	小計	1,493,587	
経常支出合計		28,734,013	
経常収支差額		2,261,425	
III その他資金収入の部			
1 借入金収入		0	
2 その他の事業会計からの繰入		0	
その他資金収入合計		0	
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出 工具器具備品		355,425	PC2台購入
その他資金収支合計		355,425	
その他資金収支差額		▲ 355,425	
当期収支差額		1,906,000	
前期繰越収支差額		105,766	
次期繰越収支差額		2,011,766	
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額	当期収支差額	1,906,000	
	工具器具備品	355,425	
2 負債減少額		0	
増加額合計		2,261,425	
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額	減価償却額	72,870	
	負債増加額	0	
2 負債増加額		0	
減少額合計		72,870	
当期正味財産増加額		2,188,555	
前期繰越正味財産		105,766	
正味財産合計		2,294,321	

計算書類に関する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の計上基準は10万円以上、継続して1年以上使用見込みのもの。
- (2) 減価償却の方法は、定額法及び均等償却法によっている。
- (3) 資金の範囲は現預金及び短期金銭債権債務。

2 当期正味財産増加額の内訳

当期収支差額	1,906,000 円
備品増加額	355,425 円
減価償却額	▲ 72,870 円
計	2,188,555 円

3 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は以下の通りである。

(単位:円)

科目	取得額	減価償却累計額	当期末残高	減価償却方法
工具器具備品	243,225	35,470	207,755	定額法
工具器具備品	112,200	37,400	74,800	均等償却法
合計	355,425	72,870	282,555	